

親と子の生活意識に関する調査 報告書

平成 24 年 5 月

内閣府 子ども若者・子育て施策総合推進室

目 次

調査の概要	
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査対象	1
4 調査時期	1
5 調査方法	1
6 調査実施機関	2
7 標本抽出方法	2
8 回収結果	4
9 本報告書を読む際の留意点	5
10 対象者の属性	6
相対的貧困層について	
1 相対的貧困層の定義	15
2 本調査における相対的貧困層の選定方法	15
3 本調査における相対的貧困層	16
調査の結果	
1 子調査の結果	
1 学校がある日の起床時間	17
2 朝ごはんの習慣	17
3 歯みがきの習慣	18
4 翌日学校がある日の就寝時間	19
5 普段の健康状態	20
6 この1週間の心の状態（悲しいと感じたこと）	21
7 この1週間の心の状態（ゆううつだと感じたこと）	23
8 この1週間の心の状態（一人ぼっちで寂しいと感じたこと）	25
9 学校にいる時間が楽しいか	27
10 学校の成績	28
11 学校の授業の理解度	30
12 理解できなくなった時期	31
13 平日の勉強時間	32
14 休日の勉強時間	33
15 理想的な学歴	34
16 現実的な学歴	36
17 現実的な学歴の理由	38
18 意見についての考え （問題が解けたり、新しいことを知ったりすることはうれしい）	40

19	意見についての考え（テストでよい点がとれないとくやしい）	41
20	意見についての考え （勉強することでいろいろな考え方を身につけることができる）	42
21	意見についての考え（勉強ができないと将来就職に困る）	44
22	40歳くらいになったときの自分（社会的に高い地位についている）	45
23	40歳くらいになったときの自分（世の中の役に立つ仕事をしている）	47
24	40歳くらいになったときの自分（やりがいを感じる仕事をしている）	49
25	40歳くらいになったときの自分 （家業を継いだり、親と同じ職業についている）	51
26	40歳くらいになったときの自分（結婚している）	52
27	40歳くらいになったときの自分（子どもを育てている）	52
28	40歳くらいになったときの自分 （仕事以外の仲間や友人とも親しくつきあっている）	53
29	40歳くらいになったとき、どのような働き方をしたいと思うか	54
30	自分の将来について明るい希望を持っているか	55
31	家庭の雰囲気	57
32	父とどのくらい話をするか（学校での出来事について）	58
33	父とどのくらい話をするか（勉強や成績のことについて）	59
34	父とどのくらい話をするか（将来や進路のことについて）	60
35	父とどのくらい話をするか（友だちのことについて）	61
36	父とどのくらい話をするか（社会の出来事やニュースについて）	62
37	父とどのくらい話をするか（趣味や習い事について）	63
38	母とどのくらい話をするか（学校での出来事について）	64
39	母とどのくらい話をするか（勉強や成績のことについて）	65
40	母とどのくらい話をするか（将来や進路のことについて）	66
41	母とどのくらい話をするか（友だちのことについて）	67
42	母とどのくらい話をするか（社会の出来事やニュースについて）	68
43	母とどのくらい話をするか（趣味や習い事について）	69
44	父について（私に対して厳しいほうだ）	70
45	父について（私のことをよくわかっている）	71
46	父について（私のことを扱いにくいと感じている）	72
47	父について（私の勉強や成績についてうるさく言うほうだ）	73
48	父について（私にいろいろなことを話してくれる）	74
49	父について（父の仕事についてよく知っている）	75
50	母について（私に対して厳しいほうだ）	76
51	母について（私のことをよくわかっている）	77
52	母について（私のことを扱いにくいと感じている）	77
53	母について（私の勉強や成績についてうるさく言うほうだ）	78
54	母について（私にいろいろなことを話してくれる）	79
55	母について（母の仕事についてよく知っている）	80
56	父と母は仲が良いか	81
57	家庭の暮らし向き	83

58	無駄遣いをしないようにしているか	85
59	欲しいものやしたいことのためにお金をためるか	85
60	必要なものが買えなくて困ったことがあるか	86
61	友だちづきあいについて（何でも話せるともだちがいる）	87
62	友だちづきあいについて（面倒に感じることもある）	88
63	友だちづきあいについて（気の合わない人とも話ができる）	89
64	友だちづきあいについて（つきあっている異性の友だちがいる）	90
65	普段の生活の中でできること（自分の考えを人に説明する）	91
66	普段の生活の中でできること（人の話をよく聞く）	91
67	普段の生活の中でできること（よく知らない人との会話）	92
68	普段の生活の中でできること（周りの人をまとめてひっぱっていく）	92
69	普段の生活の中でできること（面白いことを言って人を楽しませる）	93
70	地域活動への参加	94
71	自分自身について（自分自身に満足している）	95
72	自分自身について（長所があると感じている）	98
73	自分自身について（親から愛されていると思う）	101
74	自分自身について（自分は役に立たないと強く感じることもある）	102
75	自分自身について（早く結婚して自分の家族を持ちたい）	104
76	自分自身について（早く親元から独立したい）	105
77	周囲にいる大人	107
78	今の自分の人生を楽しむほうがよいと思うか	108
79	貧しい人と豊かな人の差が大きいと思うか	109
80	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと思うか	110
81	十分な収入がなければ、結婚はすべきではないと思うか	112
82	希望する仕事でなければ無理につかなくてよいと思うか	114
83	努力すれば夢や希望は実現すると思うか	115
84	親の意見には出来る限り従うべきと思うか	117
85	これまでの経験	118
86	楽しさを感じる時	120
87	悩んだり困っていること	122
88	悩んでいるときに相談に乗ってくれる人	124

2 保護者調査の結果

1	平日に子と一緒に過ごす時間	126
2	学校や友達についての子との会話	126
3	子との関係	127
4	子の教育で重視すること（正直であること）	127
5	子の教育で重視すること（自制心があること）	128
6	子の教育で重視すること（両親の言うことに従うこと）	128
7	子の教育で重視すること （ものごとがどのようにして起こるか興味をもつこと）	129
8	子の教育で重視すること（身だしなみがよく清潔にすること）	129

9	子の教育で重視すること（目標を立てて努力すること）	130
10	子の教育で重視すること（他人を思いやること）	130
11	子の教育で重視すること（協調性のあること）	131
12	子の教育で重視すること（自分の意見をはっきり言えること）	132
13	子の教育で重視すること（自立して考えること）	133
14	子の理想的な学歴	134
15	子の現実的な学歴	135
16	子の現実的な学歴の理由	136
17	子が現在通っている学校	138
18	子が塾や習い事をしているか	138
19	子が塾や習い事をしていない理由	140
20	教育費で負担が大きいと感じるもの	142
21	意見についての考え（学歴が低いと将来希望する職業につけない）	143
22	意見についての考え （他のことを我慢しても子どもの教育にお金をかけたほうがよい）	143
23	意見についての考え （勉強することでいろいろな考え方を身につけることができる）	144
24	子の将来に望むこと（社会的に高い地位についてほしいか）	145
25	子の将来に望むこと（世の中の役に立つような仕事をしてほしいか）	145
26	子の将来に望むこと（やりがいを感じられる仕事をしてほしいか）	146
27	子の将来に望むこと（少しでも早く働いてほしいか）	147
28	子の将来に望むこと（家業を継いだり親と同じ職業についてほしいか）	148
29	子の将来に望むこと（早く親元から独立してほしいか）	148
30	家庭の暮らし向き	149
31	毎日の生活の上で不足している費用	150
32	この一年間にした活動	152
33	中学3年生のときの家庭の暮らし向き	154
34	中学3年生のときの学校の成績	155
35	中学3年生のときの両親の様子	156
36	現在の生活全体の満足度	157
37	普段の健康状態	158
38	この1週間の心の状態（悲しいと感じたこと）	159
39	この1週間の心の状態（憂うつだと感じたこと）	160
40	この1週間の心の状態（一人ぼっちで寂しいと感じたこと）	161
41	自分自身に満足しているか	162
42	自分に長所があると感じているか	163
43	自分は役に立たないと強く感じることもあるか	163
44	頼りにする人や機関（問題を抱えて落ち込んだり混乱したとき）	164
45	頼りにする人や機関（急いでお金を借りなければならないとき）	166
46	頼りにする人や機関 （あなたや家族の誰かが病気や事故で人手が必要なとき）	168
47	頼りにする人や機関（子どもについての悩み事や心配事があるとき）	170

48	今の自分の人生を楽しむほうがよいと思うか	171
49	貧しい人と豊かな人の差が大きいと思うか	172
50	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと思うか	173
51	十分な収入がなければ、結婚はすべきではないと思うか	173
52	希望する仕事でなければ無理につかなくてよいと思うか	174
53	努力すれば夢や希望は実現すると思うか	174
54	子育てに必要な支援	175
55	配偶者との関係	178
56	子の理想的な学歴（配偶者）	179

調査結果の分析

1	相対的貧困世帯と親及び子の行動と意識	180
2	ひとり親世帯と子どもの進学期待・学習状況	191
3	生活保護世帯における親子を取り巻く状況と生活意識	199
4	子どもの理想学歴と家庭環境	210
5	ひとり親／ふたり親世帯の格差と貧困の影響	218
6	貧困・低所得とメンタルヘルス及びその世代的再生産	230

集計表

1	子調査	235
2	保護者調査	425

調査票（単純集計付）

1	子調査	627
2	保護者調査	643

	親と子の生活意識に関する調査企画分析会議構成員名簿	659
--	---------------------------	-----

